

いきいきボランティア No.7

市内のボランティア団体として登録し、助け合いの精神をもって様々な活動が続ける皆さんを紹介するコーナーです。
問合せ ボランティア市民活動センター ☎0475 (89) 2121



楽しいひと時をみなさんと一緒に

「川下」

会設立 平成5年
代 表 渡邊 光代さん(蓮沼口)
会員数 9人

〈主な活動〉

蓮沼川下区を中心として、健康づくりのお手伝いや話し相手など、高齢者の生きがい作りのためのいきいきサロンを展開しています。



「さあ、早くあがって」

12月9日、川下区民館で行われた食事会に地区の70歳以上のお年寄り、30人ほどが集まり、心のこもった手作りおやつなどの持ち寄りと共に、食事会が開かれました。

お年寄りが集まることでお互いの健康を確認しあったり、おしゃべりで楽しいひと時が送れることが、皆さんの生きがいにも役立っています。会の発足人、土屋百合枝さんは、「高齢化率が高かった地区に、お茶でも飲んで集まれる場所があったらいいのでは」と、始まった当時のきっかけを話されました。

失われつつある地区のつながりを残した温かい空間がそこには感じられました。

編集後記

▼本当にいろいろなことがあった子年を終えて今年が丑年、皆さん初詣には何を願っていますか。▽新年に当たって3つのお願いをしたいと思っています。我が家には2人の年女がいます。高齢でオートバイを乗り回す母の交通安全と長寿、お年頃の娘には、赤い糸で結ばれたいお婿さんが見つかりますように。そして、広報のアンテナで皆さんとより深い“絆”という名の情報をつなげることが出来ますよう。▽どんな情報と出会えるか、本年も広報さんむとのお付き合いをよろしく願っています。(k)

▼今回取材をした蕪木の子ども会を見て、今は解散してしまった自分の地区にあった子ども会を思い出しました。毎年男の子はお正月に天神講、女の子はクリスマス会があり、学年の違う子どもが集って楽しい時間を過ごしました。その光景が今でもこの蕪木地区にはあったのです。荒地を整地して花を植えるだけでなく、子どもたちの心に思い出をも植えていました。▽私の父は、60歳を過ぎてよく子どもとの頃の話を残す。思い出はいつまでも残るのですね。心に残る大切な思い出、今年も子どもたちにくさん作ってもらいたいです。(T)